

ASPaC Awards 2018

日本・アジア学生パッケージデザインコンペティション

説明会 & ワークショップについて

森 旬子

1. はじめに

【アジア】×【学生】×【デザイン】が生み出す未来アスパックは、“アジアの未来を創る若者を育てる”国際交流事業で、独立行政法人 国際交流基金、一般社団法人 アスパック協会、そして公益社団法人 日本パッケージデザイン協会が一体となって推進し、参加する各国・地域の公的機関・デザイン業界・企業・教育界が支援している。日本やアジアの学生の国際交流と”未来へ羽ばたく力や未来を拓く力”の育成を目的としている。その活動のひとつであるアスパックアワードは、学生を対象とするパッケージデザインのコンペティションで、優秀な作品は日本含め参加国・地域の巡回展で公開される。若者の潜在的能力を発見し、世界へ発信することを目的としたコンペティションである (<http://aspac.jp>による)。

2. ワークショップの内容

このような国際的なコンペティションの理解と参加を目的として、説明会およびワークショップを企画した。ワークショップの講師としては、藤田 隆氏 (元成安造形大学教授、元サントリーデザイン部クリエイティブディレクター) を招聘した。

開催日：2018年5月26日

開催場所：環境デザイン研究所2階セミナールーム

活動形式：コンペティション説明会、ワークショップ

参加人数：19名

過去の受賞作品の紹介とその評価についての解説を行った。その後、任意に選択した製品パッケージのよいところ悪いところの分析を行い、ディスカッションの後、その製品パッケージの展開として考えられるアイデア出しを

数人のグループで行った。選択された製品は、パスタ、乾電池、割り箸、色えんぴつ、マスク等身近な製品が多くみられた。グループでまとめた結果を模造紙に記し、1グループ10分程度でプレゼンテーションを行った。

3. おわりに

2018年の応募期間は5/1~6/29で、この期間に必要な事項をwebより記入し、ラフスケッチを添付することでエントリーする形式であった。本学からのコンペティション応募学生数は7名、うち一次審査通過人数は5名、国内決勝まで進み、佳作となった学生4名であった。



写真-1 開催当日のワークショップの様子